

	前回（2022年7月判断）	2022年10月判断	前回との比較*
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒
東北	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
北陸	基調としては持ち直している	基調としては持ち直している	⇒
関東甲信越	供給制約の影響が強まっているものの、個人消費への感染症の影響が和らぐもとで、基調としては持ち直している	<u>感染抑制と経済活動の両立が進み、供給制約の影響が和らぐもとで、基調として持ち直している</u>	⇒
東海	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きが一服している	⇒
近畿	中国におけるロックダウン等の影響が残るものの、消費への感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している	<u>感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している</u>	⇒
中国	下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗
四国	一部に供給制約の影響がみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している	<u>一部に供給制約の影響がなお残る中、全体としては緩やかに持ち直している</u>	⇒
九州・沖縄	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒

*前回との比較の↗、↘は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる。

[日本銀行 地域経済報告](#)